

**地域イノベーション戦略推進地域
おおいたメディカル・ロボット関連イノベーション推進地域
(研究機能・産業集積高度化地域) 終了評価結果**

(1) 地域イノベーション戦略の概要

○イノベーション推進協議会：大分地域イノベーション推進協議会

○総合調整機関：公益財団法人大分県産業創造機構

○協議会構成機関：

【産】：一般社団法人大分県工業連合会

【学】：国立大学法人大分大学

【官】：大分県

【金】：株式会社大分銀行、株式会社豊和銀行

○地域イノベーション戦略のテーマ：

大分の強みを活かしたライフ&ロボット関連のイノベーション創出による地域の活性化

○地域イノベーション戦略の概要：

東九州メディカルバレーによる産学官連携をより強化し、医療機器だけでなく、診断・治療機器、福祉機器関連産業へと領域を広げこれまでにない発想と次世代の医療・福祉分野を見据えた、機器の開発・製品化を目標とする。3つの課題を掲げ、集積する研究者や地元企業と協力し、5年後の実用化を目標とする。医学・工学両方の知識を兼ね備えた人材の育成を行うと同時に、知のネットワークの構築等により、研究開発の加速化を図る。

(2) 総評（総合評価：B）

当初予定していた予算が確保できなかったこともあり、いずれの項目も進展が遅れている。一方、大分県産業創造機構が独自財源を活用して、平成28年度～平成30年度にかけて約4千万円の研究開発・販路開拓助成金を支出した点が評価できる。「東九州地域医療産業拠点」の実現に向けて、宮崎県も巻き込み前向に活動が継続されることを期待する。